

かわらばん

NUMBER
111

川崎異業種研究会

○発行/川崎異業種研究会 広報部 ○発行日/平成20年4月2日



定例会報告

【2月定例会】

平成20年2月21日(木)午後5時30分 川崎商工会議所会議室にて、
22名出席。

〔内 容〕

理事会報告として、小林会長より、「川異研20年度事業の会長基本方針について」、20年度は、経営情報・商品開発両委員会の活動を活性化させたい旨の説明がなされた。現状は、人集りも良くなく、両委員会の委員長が苦勞しているため、両委員会を盛り立て何とか活性化させたい。次に、和光大学との連携を尚一層深めた活動をしていきたい。最後に今年の視察会は、海外を考えているので、担当の紀中副会長に案を出してもらい実施したい旨の基本方針が述べられた。

続いて、事務局より、会員の関トウ(株)より退会届けが出ており、理事会に諮ったところ、承認された旨及び、今後のかわらばんの発行についての説明が行われた。併せて、5月の総会に呼ぶ講師について、平成19年以前の総会に呼んだ講師リストの説明を行い、次回の理事会までに各理事より、候補を出してもらい、その時に決定したい旨の説明がなされた。また、竹之内顧問より、市主催の異業種交流団体にニ水会があり、川異研会員の株式会社ブラザーの石田社長が新年度から代表になり、川異研と交流の意向があるため、何とか委員会で交流が図れないかとの意見が出されたため、理事会等で今後、検討することになった。また、和光大学小林先生より、和光大学では20年度から、インターシップを学科の単位に入れることになり、インターンシップを受けてくれる企業を探しており、川異研会員には協力してもらいたい等の要請があった。最後に、タイジの堀江社長より、4月3日に開催される中小企業家同友会主催の「かわさき中小企業家サミット」のPRと出席依頼がなされた。

その後、川崎商工会議所 西岡会頭の講演が行われた。

講演内容は以下の通り。

- ・ 11月に就任したが、就任してまずやったことは、お客さんが来やすいようにトイレを様式にしたり、来てもらったら「いらっしゃいませ」と音声が出る入り口にしたり、職場環境をまず変えることから行った。
- ・ 川異研という異業種の集まりには、非常に興味を持っている。
- ・ 東芝時代から、アフター5を大事にした。就業時間中仕事をするのは当たり前である。アフター5でコミュニケーションを深めることにより、仕事がスムーズに進むと思っている。
- ・ 会頭に就任してまず、会議所としてやらなければならないと思ったことは、道路関係の整備である。国交省には、要望書を提出に何回も行っている。今後も、道路整備の具現化の為に、国・県・市等の行政に引き続きどんどん要望していきたいと思っている。
- ・ 次に、商店街の活性化である。川崎駅前の商店街の新年会には出来るだけ出て、商業者の声を聞いた。その中で思ったのが駅周辺の回遊性である。現在は、東口と西口に分断されているが、これを何とかして回遊性をもたせていきたいと思っている。
- ・ 次は、工業会の活性化である。現在、工業会を回り、問題点・課題などを聞いて回っている。これをまとめ、何とか改善策を考えていきたい。
- ・ そして、当会館の建て直しである。現在、建設業者に図面を出させているが、条件として、一階を吹き抜けにして駅前から見渡せるような図面を出すように言っている。
- ・ その他としては、羽田空港の国際化に伴い、臨海部の整備が必要である。工都のイメージを変える必要があると思っている。
- ・ 国際都市「川崎」を目指す方がいいと思っている。だから、当所に国際課を作った。
- ・ 最後に女性の活用を上手に図る必要がある。女性が前面に出るような組織にする必要がある。教育をどうするか等の課題はあるが、今後検討していきたい。

その後、会場を移し、会頭も参加して懇親会が行われた。懇親会では小林会長の挨拶・乾杯後懇談会に入り、会頭と会員が名刺交換するなど、和やかな雰囲気の中、盛会裏の内に終了した。

【3月定例会】

平成20年3月13日(木)午後5時30分 川崎商工会議所会議室にて、22名出席。

〔内 容〕

小林会長の挨拶があり、その後、出席企業の3分間スピーチ(近況報告等)が行われた。

内容は以下の通り。

- ・ プラスチックの加工・機械部品の製造を行っている。経営環境が大きく変わり中小製造業がどう生き残っていくか模索している。プラスチックはナフサから作るが、ナフサが値上がりしていて、また、中国が大量に輸入しており、日本向けが少なくなってきている。
- ・ 物流センターを運営している。年々、業界に進出してくる企業が増加しており、経営環境は厳しくなっている。この業界は、個人情報の取扱いが厳しく求められており、プライバシーマークを持っていないと受注が取れない状況である。当社は2年前に取得したが、その後取得する企業が増え、現在は約9,000社が取得している(当社が取得した時は約4,000社)。売上は伸びているが、収益は厳しくなっている。
- ・ 情報提供として、喫煙で病気リスクが高くなること。緑茶の胃がん予防効果。平成20年度中小企業関係予算の中のIT活用予算とIT活用のメリット等の説明があった。
- ・ 「産学官連携を活用した人材育成システムの開発とその実戦」と題した授業カリキュラムが今年の新年度からスタートする。この授業の目的は、学生に企業運営・管理の実際を体験して、起業家精神を育成することであり、単位は4単位与える予定である。川異研メンバーにも企業経営者として協力をお願いしたい。
- ・ インドネシアと日本は国交50周年であり、是非インドネシアに視察に来てもらいたい。インドネシアとのパイプ役として色々協力したいと思っている。
- ・ 電気の制御盤・工場の電気設備など電気設備の会社を運営している。ただ組み立てるだけの仕事をしている企業はどんどん倒産している(半分ぐらい減っている)当社は、部材の製造から設計まで行っているので生き残っている。売上の波の激しい業界であり、それをどうやって改善していくかが課題である。

- ・ 久しぶりの出席で申し訳ない。最近、体調が思わしくなく物忘れが激しく脳の検査を行った。検査結果は何ともなかった。会社の業績は良く、売上は過去最高であった。ただ、最近、建築基準法の改正の影響でマンションなどが建っていない。今後については不透明である。
- ・ パネルや冷蔵庫、コンビニの冷蔵庫などを作っているメーカーである。今期は何とか黒字になる見込みである。平成19年10月に社長を退任し、長男に社長を譲った。しばらくは会長として、長男を見守りたいと思っている。
- ・ 鉄や金属部品の加工を行っている。最近、資材が高騰し親会社と値上げ交渉するのが、今の課題である。また、後継者問題がネックであり、最近、パート集めに苦労している。
- ・ 半導体装置の製造を行っている。業績としては、業界全体の落込みはひどかったが、当社は何とか10%減ですんだ。今期は良い年になるとみている。川崎市主催の異業種団体二水会の会長に4月から就任する。設立してから40年の歴史があるが、参加者が高齢化し会の活動は停滞気味である。川異研とも交流していきたいと思っている。
- ・ プラスチック金型の製造を行っている。現状は厳しい状況である。4月まで得意先企業が予算取りできない状態で厳しい状況である。総体的に金型業界は停滞している。
- ・ 商業デザイナーとしてデザインや広報誌、ロゴマークの作成などを行っている。最近、やっと体調が良くなってきた。
- ・ 4月の異動で転勤する事になった。当社は、人材派遣会社であるが、今までは、横浜・川崎が担当であったが今度は東京の官公庁が担当になる。今まで大変お世話になった。
- ・ 今年の4月は新卒を4名採用する。女4名、男1名で男はドライバー候補として採用した。昨年も男はドライバーとして採用したが順調に育っている。採用した男をドライバーにするのは、ドライバーを価値あるものにしたという願いからである。4月3日開催の同友会主催のセミナーで講演する。運送業界に長年携わってきたのでその話をする予定である。
- ・ 月の半分はベトナムに出張している。会社がベトナムに工場進出する計画があるため、現地の工場団地などを回っている。建物付きの工場をレンタルする予定である。5年レンタルで2年間の家賃前払いで1㎡3ドルぐらいの物件を探している。
- ・ 特許関係の仕事をしている。現在4名の弁理士を抱えており、それぞれ専門性の違う弁理士なのでどんな相談にも対応できる体制である。県内ではベスト5以内に入っていると思う。ベスト1を目指していきたい。
- ・ 長年、会計監査の仕事をしてきたが、昨年その仕事から離れた。現在は、NPO法人として活動し、川異研にも入会している。今後は、横浜でも同様の活動が出来ないか考えている段階である。
- ・ 川異研創立時からのメンバーである。物を電氣的に動かす仕事をしている。前期は、減収減益だが黒字を維持できた。長男が当社に勤務しているので何とかうまく引き継ぎたい。
- ・ 税理士法人として参加している。昨年からは会計事務所を何箇所か統合し、顧客が大幅に増え忙しくなっている。顧客は増えるがそれに併せて職員が増えないので、仕事量が増えている。経営情報委員会は、経営情報に特化したいが、それだと中々人集まりが良くないので、色々考えてやっているが苦慮している。ご協力願いたい。
- ・ プロパンや工業用ガスの販売を行っている。今年度は原油高の影響で、顧客に値上げの交渉に回っている。入社した時の9年前と比べると倍近い値上げとなっている。
- ・ 現在、相模原に新工場を建設中である。平成19年9月に話があったからとんとん拍子に話が進んだが、あまりに急速に進んだため、投資費用が1.5倍ぐらいになってしまった。計画する時は予算の1.5倍を見なければいけないことがわかった。予算内で済ませたい時は、予算の1.5倍少ない金額で考えないと予算内ですまない事が理解できた。

その後、会場を移し、株式会社ブラザー石田社長の乾杯の発声があり、懇親会がスタート。賑やかな懇親会の中、中締め挨拶は3月末で退職する小見山支所長が行い盛会裏の内に終了した。

川異研メンバー募集中



川崎異業種研究会では、現在会員を募集しております。

会員のお知り合いの方で、少しでも異業種交流に興味のある方をご存知でしたら事務局にご紹介下さい。

なお、見学者も大歓迎ですので、ご友人等とお誘い合わせのうえ、定例会にご参加下さい。

事務局：川崎商工会議所中小企業振興部 TEL. 044-211-4114

委員会報告

経営情報委員会

委員長 藤田 智

■ 2月定例会

日 時 平成20年2月20日(水)午後6時30分～8時
場 所 高津市民館第1会議室
参 加 者 6名
講演内容 「平成20年度改正税法のポイントについて」
講師 天野 隆氏

今回は本年4月1日から改正を予定されている、税制改正について、ビデオを用いてポイントの解説、今後の影響と対応策について学習した。

講師より、「今回の改正は、ねじれ国会の影響もあり、与党案ですんなり決着するとは限らないので、審議の経過を注意深く見守る必要がある。」ことを前提としての説明となり、また、時間の都合により、経営者向け内容に限定されたものとなったが、参加者からは分かりやすい説明と好評であった。

なお、参加者の皆さんには日程発表が直前までずれ込んだため、大変にご迷惑をおかけした。次回は、3月19日(水)に実施を予定しているので多数の参加をお願いしたい。講師は岡崎雄隆氏を予定していたが、海外出張予定が入ったので松田宝雄氏をお願いした。

松田宝雄氏は東亜建設株式会社に永年勤務し、今回はイラク勤務中の貴重な体験を語っていただく予定である。岡崎氏には4月以降で予定を入れたい。

■ 3月定例会

日 時 平成20年3月19日(水)午後6時30分～8時
場 所 てくのかわさき第1研修室
参 加 者 8名
講演内容 「コーランの世界」 ～アラブ見たまま、聞いたまま～
講師: 松田宝雄氏(フェリックス・ソリス(株)日本事務所 代表)

講師の経歴は小樽商科大学大学卒業後10年間貿易商社に勤務した後、東亜建設工業株式会社に勤務。同社では永らく海外勤務が続き、今回ご案内の、アラブ世界と深く関わることとなった。今回は、イラク滞在の体験談を簡潔にまとめてお話いただいた。イスラム世界については、メディアを通じて多くの情報に触れてはいるものの、体験談を直接聴く機会はまだ少ない。日常生活の行動規範が我々と大きく異なるので、視野を広げる良い機会であった。なお、懇親会には松田氏もご参加いただき、現在活躍中のワインについて楽しく、有益なお話を聴かせていただいた。



商品開発委員会

委員長 菅原 智照

■ 2月定例会

日 時 平成20年2月14日(水)午後6時30分～午後9時

場 所 川崎市高津区市民館 第2会議室

参加者 5名

内 容 (1)午後6時30分～午後8時00分

☆バーコードの活用について 第一回

・簡易説明ビデオの視聴。

・意見交換

☆川意研HPバナーの配布と説明

(2)午後8時00分～午後9時00分

懇親会

バーコードを上手く利用することで社内業務の効率化を図るといった観点から、まず始めにバーコードの簡易説明ビデオを視聴し、その後で意見交換を行い社内での出入荷を正確かつ効率的に行うなどの管理運営において有用であるとの認識で一致した。

■ 3月定例会

日 時 平成20年3月5日(水)午後6時30分～午後8時30分

場 所 川崎市高津区市民館 第1会議室

参加者 8名

内 容 (1)午後6時30分～午後8時00分

☆バーコードの活用について 第二回 講演会

講師 財団法人流通システム開発センター

流通コードサービス部長 齊藤氏

○バーコードの種類や仕組み

○JANコードの使用例

○標準物流コードについて

○CODE128とEAN128について

○特に業界動向やペーパーレス化等のメリット

○また工場内(社内)での簡易導入方やそれによるメリット等について

・意見交換

☆川意研HPバナーデザイン募集コンペについて

(2)午後8時00分～午後9時00分

☆懇親会

(1)財団法人流通システム開発センターの齊藤氏に講演して頂いた。バーコードの種類や仕組み、JANコードの使用例、標準物流コードについて、CODE128とEAN128について、業界動向やペーパーレス化等のメリット、また工場内(社内)での簡易導入方やそれによるメリット等、多くの情報が入れられる二次元バーコードや非接触型のICタグなどが近年新たに考えられていることなど、有益な情報を聞くことができた。

(2)川意研HPのバナーおよびマスコットを和光大学の学生さんにデザインコンペをさせては？という案がでた。定例会で承認してもらえれば好いのではということになる。